

自治労連から報告

祝島の闘いに学ぼう

イレブンアクション岡山実行員会学習企画

学習会のお知らせ

と き：2013年10月30日（水）

18時30分～20時

ところ：勤労者福祉センター4階大会議室



自治労連は4月20日～21日、上関原発建設に反対して運動している祝島の人達と交流しました。長い間の闘いの中で、島の人達は賛否に分かれ、親族同士が争うなど、悲しい現実もあります。島の漁業と伝統を守って、畑仕事しながら生計を営む島の人達の人柄と苦しみに寄り添って感じた自治労連の皆さんのお話を聞きます。原発建設は住民にどんな影響をもたらしているのでしょうか？



祝い島豆知識

祝島は、波高い周防灘の東端に位置する周囲12キロの孤島で、古来行き交う船の航行安全を守る神霊の鎮まり給う島として崇められてきた。このことは都にも広く知られていて万葉集にも登場する。

遣新羅使一行が航海の無事をひたすら祈ったという祝島。その名の由来であるが、「祝」という語は古代以来の神職の名称の一つ、「ほうり」とも言い、祝部とも称した。この語の初見は、「日本書紀」に仲哀天皇が正月条で海路安全を祈るため伊賀彦を以て祝として祭らしむとある。つまり、その祝のいる島が、祝島と呼ばれるようになったとも言われる。

自然エネルギーで行こう



主 催：原発ゼロをめざすイレブンアクション岡山実行委員会

事務局：岡山県労働組合会議 TEL 086-221-0133 FAX 086-221-3595

〒700-0905 岡山市北区春日町5-6